



トラウマの心理アセスメント

虐待、DV、性被害、犯罪被害、事故、自然災害、家族の不慮の死。誰もが遭遇する可能性のある外傷的出来事は、消えることのない傷をこころに刻み、心身に様々な不調を引き起こします。今回は、こうして心理臨床家の前に現れるクライアントに実施される心理アセスメントに焦点を当てた研修会を企画しました。

午前中は、被害者支援の第一線で活躍されているお二人の臨床心理士を講師に迎え、三本の講義を通して、外傷的な出来事にはどのようなものがあり、実際被害者になるとどんなことを体験するのか、そうした体験をした人にはどのような心理特性があり、アセスメントの導入に際してはどういった対応が求められるのかをお話いただき、またトラウマのアセスメントに用いられる代表的なツールをご紹介します。午後は、まずトラウマや解離の兆候がロールシャッハにどう現れるかを学び、続いて午前の講師お二人に、被害者臨床の場で心理臨床家が実施する心理アセスメントの持つ意義について、対談形式でお話いただきます。

皆様のご参加をお待ち申し上げますとともに、関心のある方にもご紹介いただければ幸いです。

記

日時 : 2016年12月4日(日) 午前9時45分～午後4時45分(9時15分受付開始)
場所 : アットビジネスセンター渋谷東口駅前503号室 東京都渋谷区渋谷2-22-8 名取ビル5階
<http://abc-kaigishitsu.com/shibuya/access3.html>

内容 : 9:45~12:45 講義1「被害者になるとはどういうことか」
講義2「外傷的出来事を体験した人の心理特性」
講義3「トラウマのアセスメントに用いられるツール」
講師 : 鶴田 信子 (公益社団法人被害者支援都民センター)
講師 : 吉田 博美 (武蔵野大学心理臨床センター)
14:00~15:30 講義4「ロールシャッハを用いたトラウマのアセスメント」
講師 : 松森 基子 (武蔵野心理相談室・南青山心理相談室)
15:45~16:45 対談 「被害者臨床における心理アセスメントの意義」
話し手 : 鶴田 信子 × 吉田 博美
聴き手 : 秋田 恭子 (東北福祉大学・南青山心理相談室)

定員 : 90名(申込順で締め切ります)

受講料 : 7,000円(下記の振込先に事前納入をお願いします)

北山研究所ロールシャッハ研究会(受講期間が1年のもの)の受講者は6,000円

参加資格 : ロールシャッハの基礎的研修を修了している方、守秘義務を守れる方

申込方法 : 以下のホームページから申込書をダウンロードの上、①メール添付 ②FAX

③郵送のいずれかの方法で申し込み、合わせて受講料をご納入ください。

※申込書と受講料が揃った時点で正式な申込受付とし、参加証をお送りいたします。

なお、受講料は当日欠席された場合もお返しすることはできませんのでご了承ください。

お申込先 : 〒107-0062 東京都港区南青山5-4-44 南青山 CITY HOUSE 203

南青山心理相談室 宛 (事務担当: 田村)

ホームページ : <http://www010.upp.so-net.ne.jp/minamiaoyama/index.html>

FAX : 03-6427-4228 E-mail : k_rorschach@estate.ocn.ne.jp

お振込先 : ゆうちょ銀行 〇一八店(ゼロイチハチ店)

普通口座 8763571 (記号番号 10100-87635711)

南青山心理相談室ロールシャッハ研究会

※終了後、日本臨床心理士資格認定協会の研修ポイント取得ができる教育研修機会として申請予定です。

トラウマの心理アセスメント

受講申込用紙

氏名（フリガナ）： _____

連絡先住所 : 自宅 勤務先〒

電話番号 : _____ 携帯・PHS : _____

FAX 番号 : _____

メールアドレス : **ブロック体で** _____

所属（勤務先など） : _____

臨床心理士資格 : あり（**※登録番号** : _____） なし臨床経験年数 : _____ 年 臨床経験なし所属学会 : 日本ロールシャッフ学会包括システムによる日本ロールシャッフ学会日本心理臨床学会 日本精神分析学会その他（ _____ ）施行方法 : 片口法 包括システム その他（ _____ ）**※南青山心理相談室・北山研究所ロールシャッフ研究会の受講歴**なし（受講料 7,000 円）あり（受講料 6,000 円）**※受講期間が1年のもの**

通信欄 : _____